

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
35	工学院大学	都市計画	野澤 康 建築学部 教授	2	前期	金	15	10:10～11:40	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

- (1)都市計画とはどのようなものであるか、その役割や枠組み、歴史的背景を理解している。
- (2)身近な都市の問題点や良い点を的確に捉えて、指摘することができる。
- (3)具体的な都市の計画図書を読み解くことに必要な基礎知識を身につけている。

【授業の概要】

この授業のねらいは、

- ・都市とは何かに目を向け、その上で都市計画とはどのようなものなのか、その概要や基本的な枠組みを理解すること。
- ・建築を学ぶにあたって、建築そのものの敷地だけではなく、その周辺環境に広く目を向けることの重要性を知ること。

の2点である。

授業は概ね指定の教科書および追加資料を用いて進める。

【授業内容】

1. オンデマンド教材(この講義のガイダンス・イントロダクション)を視聴する。
※必ず、4月8日の授業第1回より前に視聴しておくこと。
2. 実質【第1回】4月8日(教室:奇数/オンライン:偶数)
都市とは?都市計画とは?を考える
:都市の理解、都市計画の意義、人口集中地区
3. 実質【第2回】4月15日(教室:偶数/オンライン:奇数)
都市計画の近代史1
:田園都市、近隣住区論、近代都市計画の発祥
4. 実質【第3回】4月22日(教室:奇数/オンライン:偶数)
都市計画の近代史2
:日本における近代都市計画
都市計画法の体系
:都市計画法、マスタープラン、都市計画制限と都市計画事業
5. 実質【第4回】5月6日(教室:偶数/オンライン:奇数)
都市形成プロセスと都市の把握
:都市の形成、ニュータウン、K.リンチの「都市のイメージ」(都市の把握)
6. 実質【第5回】5月13日(教室:奇数/オンライン:偶数)
土地利用計画と建築物のコントロール
:区域区分、地域地区、密度・用途・形態、形態規制
7. 実質【第6回】5月20日(教室:偶数/オンライン:奇数)
地区スケールの計画・ルール
:形態規制、地区計画、建築協定
8. 実質【第7回】5月27日(教室:奇数/オンライン:偶数)
都市の再生と交通システム1
:街路空間・街路網、歩車分離、歩車共存、商業地区活性化と交通
ミニ・レポート①の作成
:第1回～第6回の講義内容の復習を行う。
9. 実質【第8回】6月10日(教室:偶数/オンライン:奇数)
都市の再生と交通システム2
:総合的な交通政策、公共交通、駅前広場、自転車利用、コンパクトシティ
都市と自然1
:公園・緑地・オープンスペースの意義
10. 実質【第9回】6月17日(教室:奇数/オンライン:偶数)
都市と自然2
:都市公園、緑の基本計画、様々な公園等、生産緑地
11. 実質【第10回】6月24日(教室:偶数/オンライン:奇数)
市街地開発事業と都市再生
:土地区画整理事業、市街地再開発事業、開発許可、ミニ開発
12. 実質【第11回】7月11日(教室:奇数/オンライン:偶数)
都市と防災
:災害、地域危険度、不燃領域率、ハザード、災害から守る、犯罪から守る
ミニ・レポート②の作成
:第5回～第10回の講義の内容の復習を行う。
13. 実質【第12回】7月8日(教室:偶数/オンライン:奇数)
都市の景観まちづくり
:都市デザイン、景観の領域性、景観法
14. 参加・協働のまちづくり
:計画プロセスと参加、ワークショップ、まちづくりの主体、コミュニケーション
講義全体のまとめにかえて
:都市再生の課題、居住環境の性能・水準(これからの都市・市街地像を考えるために)
15. 実質【第14回】
学習成果の振り返り

【成績評価方法】

授業に関するリアクション・コメントの提出状況 10%、授業中に実施するミニ・レポート 30%、学期末試験(教室で実施予定)の得点 60%によって成績を評価する。
状況によっては、学期末試験をレポートに変更する可能性がある。
A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とする。

【教科書】

「初めて学ぶ都市計画 第二版」饗庭伸・鈴木伸治編著(市ヶ谷出版社)

【参考書、教材等】

「都市計画第3版」川上光彦著(森北出版)

「初学者のための都市工学入門」高見沢実著(鹿島出版会)

「市町村の都市計画1～3」日笠 端著(共立出版)

「市民参加のまちづくり」渡辺俊一編著(学芸出版社) 他、講義中に随時紹介する。

また、これらの書店や図書館で入手・閲覧可能な書籍に加えて、自治体発行の各種資料や新聞も参考としながら、学習してほしい。

※ この授業は、4/8(金)が初回です。